
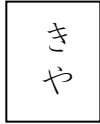
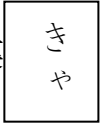


発音について知ろう

目標：日本語には、長音、拗音があることを知る。

| 時間 | 児童生徒の活動 | 指導上の留意点・教材 |
|----|---|---|
| 5 | 1 前回までの復習をする。 ① 「あいうえおの歌」を歌う。 ② 濁音の入った「あいうえおの歌」を歌う。 | ★「あいうえおの歌」(1参照) ★濁音の入った平仮名表(6参照) ★濁音の入った「あいうえおの歌」 清音と濁音の両方が入った「あいうえおの歌」 |
| 20 | 2 長音がある平仮名の発音の練習をする。 ① 長音のない言葉とある言葉を続けて読む。 (例)「おばさん」「おばあさん」「おじさん」「おじいさん」 ② 長音のある言葉を読む。 ・絵の裏に文字が書いてあるカードで、物の名前を覚えながら読む練習をする。 (例)とけい、すうじ、ふうせん、せんせい、とうふ、すいとう、こおり、さんすう、ぞうきん | ・東京書籍『あたらしいこくご上』の「おばさんとおばあさん」を参照する。 ★絵カード(裏に文字) 表  裏 とけい ・高学年の児童生徒には「え」の長音は「い」「お」の長音は「う」と書くことが多いことを説明してもよい。 |
| 20 | 3 拗音がある平仮名の発音の練習をする。 ① 教師が「きや」の文字カードを数回早く読むのに続いて、「きゃ」の文字カードを読むのを聞く。 ② 「きや」と「きゃ」の文字カードを教師に続けて読む。 ③ 「きゅ」「きょ」についても練習する。 ④ 拗音の表を読む。 ⑤ 「しゃ、しゅ、しよの歌」を歌う。 ⑥ 拗音ある言葉を読む (例) きやべつ、きゅうり、きょうし、しゃかい、しゅうじ、しょうがっこう 等 | ・国語の教科書(1年生)で、拗音について学習する教材を参考にする。 ★文字カード(拗音) 表  裏  ★「しゃ、しゅ、しよの歌」『きらきら星』の替え歌で、拗音を順に歌っていく歌 |

凡例：・留意点 ★教材